

主催 神奈川大学法学研究所、明治大学自治体政策経営研究所
科学研究費助成事業（研究課題番号：18 K01424）

日本の国会審議の改善方策を考える ～法案審議の制度的基盤の観点から～

日時：2023年2月27日（月）13時～17時半

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス米田吉盛ホール

明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン8階308E教室

リモート参加も可能（Zoomによるオンライン配信、先着順）

近年、日本の国会における法案審議は形骸化の度合いがますます深刻化しており、実質的な審議が不十分なまま法案が成立している。

本シンポジウムでは、第一に、近年の国会での法案審議を題材にして、審議内容を分析し、その問題点を明らかにするとともに、第二に、諸外国における法案審議の実効性を確保するための制度を紹介し、日本の法案審議の制度的問題点を明らかにする。その上で、第三に、日本の国会における法案審議の充実強化に向けた改善方策を提言することを目指している。また、国会での審議が不十分なことによる法律成立後における実施段階への影響についても触れる。

申込方法：参加をご希望の方は、下記URL又は二次元バーコードから、2023年2月20日（月）までにお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/g58ez26f4u>



プログラム

参加無料／事前申込制

- 1 基調講演** 国会での法案審議の現状と課題
大山 礼子氏（駒澤大学法学部教授）
- 2 講演** IR 実施法の法案審議について
金井 利之（東京大学法学部教授）
- 3 報告** IR 実施法成立後のIR 誘致への影響について
大川 千寿（神奈川大学法学部教授）
＜神奈川大学法学研究所共同研究の研究成果を反映＞
- 4 報告** フランスにおける法案の影響評価について
小川 有希子氏（帝京大学法学部助教）
- 5 報告** イギリスにおける Explanatory Notes について
板倉 陽一郎（弁護士）

6 パネルディスカッション 「国会審議の充実強化に向けた方策について」

- ◆パネリスト◆ 金井 利之（東京大学法学部教授）
毛利 透氏（京都大学法学部教授）
板倉 陽一郎（弁護士）
幸田 雅治（神奈川大学法学部教授）
- ◆コーディネーター◆ 牛山 久仁彦（明治大学政治経済学部教授）

【問合せ先：神奈川大学法学研究所 TEL：045-481-5661（内線 4356）】